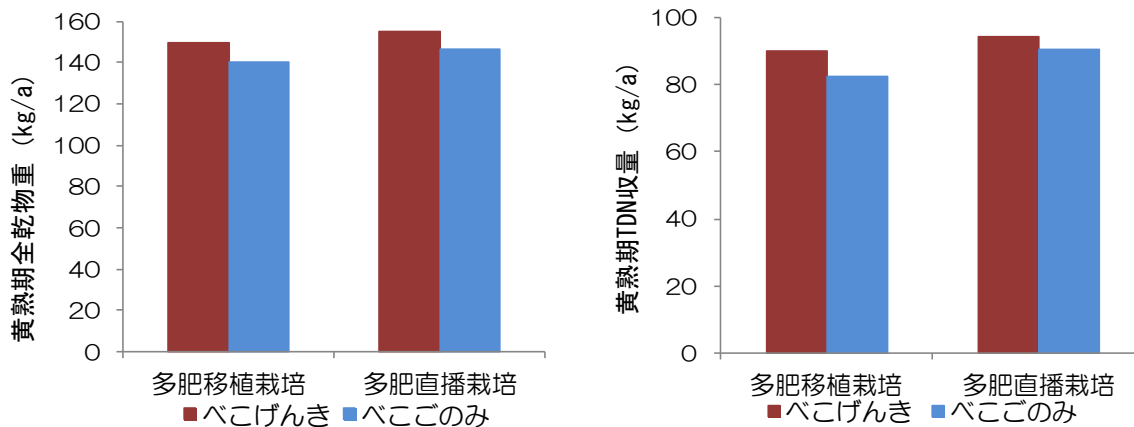


稲発酵粗飼料に適した早生・多収の 水稻新品種「べこげんき」

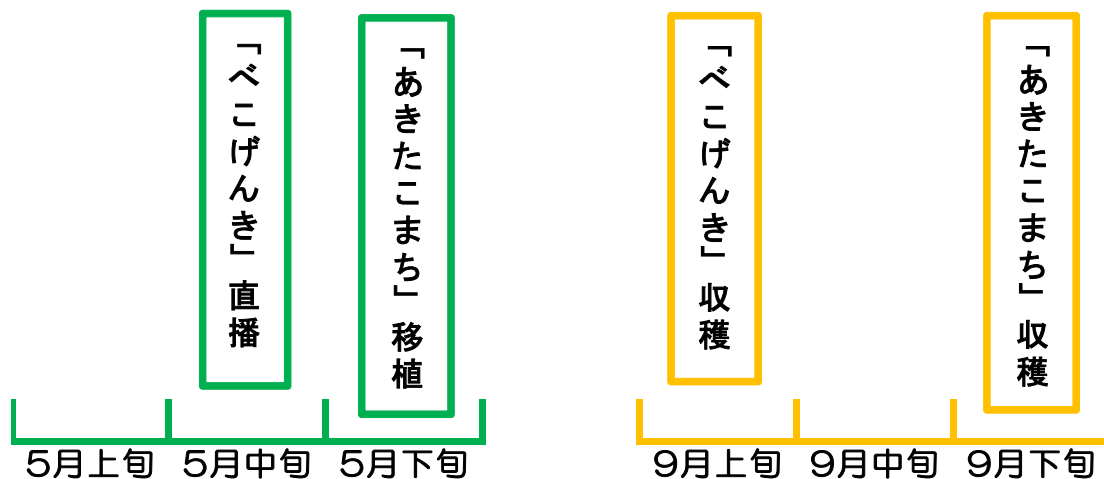
目的と特徴

- ・東北地域に適した稲発酵粗飼料用品種の育成を目指しました。
- ・食用品種の収穫前に収穫できる早生品種、倒伏に強い直播適性品種の育成を目指しました。



黄熟期の全乾物重やTDN収量が高い。

TDN収量 = 全乾物重 × TDN含量、TDN含量: 乾物の中で家畜が消化できる養分の割合。



食用品種との作業競合を回避できる。

成果

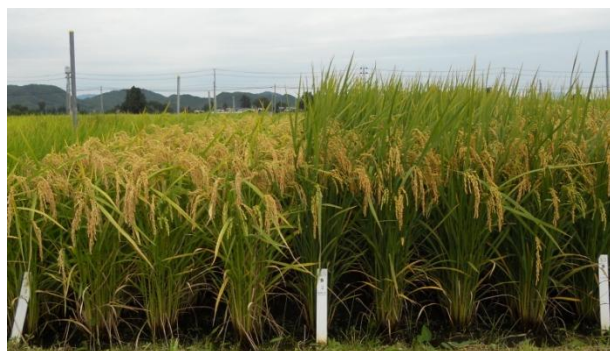
- ・稲発酵粗飼料用標準品種「ベコごのみ」と比べて、黄熟期全乾物重は5~7%の多収、TDN収量は4~9%の多収です。
- ・「あきたこまち」より出穂期が5日早い早生品種で、「あきたこまち」の収穫前に黄熟期収穫が可能です。
- ・耐倒伏性が極めて強く、直播栽培でも倒れることはほとんどありません。
- ・食用品種と識別可能です。

「ベこげんき」の主要特性

表. 「ベこげんき」と稲発酵粗飼料用標準品種「ベこごのみ」、食用標準品種「あきたこまち」の比較

特性	ベこげんき	ベこごのみ	あきたこまち	説明
出穂期	7月27日	7月25日	8月1日	育成地の移植栽培における黄熟期は8月29日であり、「あきたこまち」の成熟期の9月14日の前に収穫できる。
黄熟期	8月29日	8月26日	-	
成熟期	9月8日	9月8日	9月14日	
耐倒伏性	かなり強	強	やや弱	耐倒伏性が“かなり強”であり、多肥直播栽培でも、倒伏の危険性は低い。
葉いもち	不明	不明	中	真性抵抗性遺伝子 <i>Pib</i> を持つので、圃場での発病は認められない。
穂いもち	不明	不明	やや弱	
穂ばらみ期耐冷性	やや弱	弱	中	低温深水による検定において、穂ばらみ期耐冷性は「やや弱」と評価される。

「ベこげんき」の識別性



「ベこごのみ」 「ベこげんき」

「ベこげんき」は止葉が直立して長いので圃場で識別できる



「ベこげんき」
千粒重26.0g

「あきたこまち」
千粒重22.2g

「ベこげんき」の玄米はやや大きく、品質が劣るので識別できる

対象作物、普及対象

- ・水稲、東北地域。

対象農家

- ・WCSを用途として水稲を栽培している生産者。

必要な道具

- ・栽培管理は食用の水稲品種とほぼ同様。サイレージ用の収穫機。

関連HP

- ・<http://www.nilgs.affrc.go.jp/project/jiky-pro/index.htm>

その他

- ・いもち病真性抵抗性があり、現段階では発病しないが、罹病化の情報があれば防除を行う必要があります。